

# 2017年 関西元気文化圏賞 贈賞理由



関西元気文化圏推進協議会

## 大賞

### 桐生 祥秀 (陸上選手)

滋賀県彦根市出身。2017年9月に開催された第86回日本学生陸上競技対校選手権大会(福井市)男子100メートル決勝で9秒98を記録し優勝した。日本人として史上初めて10秒を切り、日本陸上界の夢である9秒台をマーク。日本記録を19年ぶりに更新した。9秒台でしのぎをけずる世界の中で、戦っていける日本人の可能性を感じさせ、2020年東京オリンピックなど今後のますますの活躍が期待され、関西から多くの人を明るく元気にすることに大いに貢献した。

提供：東洋大学



## 特別賞



### 井山 裕太 (囲碁棋士)

大阪府東大阪市出身。日本棋院関西総本部に所属。2017年10月、囲碁名人戦七番勝負を制し、名人位を奪還するとともに前人未到の2度目の囲碁七大タイトル制覇を果たした。2002年、中学生でプロ入りしてすぐに頭角を現し、2009年には、史上最年少(20歳4ヶ月)で名人位を獲得するなど様々な最年少記録を塗り替える活躍をみせ、2016年に史上初の七冠独占を果たした。その後、一時六冠となるも、不屈の闘志で名人戦に挑み、2度目の七冠を達成という偉業を成し遂げた。

## 京都国立博物館

1897年「帝国京都博物館」が開館、「古社寺保存法」により国宝制度が誕生してから120年を迎えたことを記念して、特別展覧会「国宝」を開催した。本展は国宝210件を大きく4期に分けて公開。美術工芸品の国宝の約4分の1が展示される貴重な機会に国内外からも大きな注目を集めた。入場者は62万人を超え、京博120年の歴史のなかでも最高記録となった。春の特別展覧会「海北友松」でも京博ならではの揺るぎない存在を発揮し、年間の展示を通じて文化・芸術への関心を高め、関西から日本文化の奥深さを改めて示した。



## ニューパワー賞



### 大阪府立登美丘高等学校ダンス部

2017年8月に開催された全国高等学校ダンス部選手権で優勝。同月、日本高校ダンス部選手権では準優勝を果たした(2015年・2016年2年連続優勝)。「バブル」をテーマにしたダンスは、キレのある動きと1980年代をほうふつさせる衣装で衝撃のパフォーマンスを披露、関西のみならず全国で話題となり注目された。関西パワーを感じさせる躍動感のあるダンスに今後も元気に満ち溢れた活動が期待される。

### 北村 陽 (チェロ奏者)

兵庫県西宮市出身。兵庫県立芦屋国際中等教育学校1年。4歳からチェロをはじめ、大阪国際音楽コンクール、全日本芸術コンクール全国大会などで優勝。佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラに最年少で入団し、東日本大震災の被災地など全国各地で公演。2015年東京交響楽団と共演し、サントリーホールデビュー、10歳で初リサイタルを行った。2017年「第10回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」チェロ部門で優勝、大好評を博した。関西から世界に羽ばたく注目の中学生チェリストであり、今後の活躍が期待される。



### 竹本 織太夫 (文楽太夫)

大阪市出身。8歳の時に豊竹咲太夫に入門。大阪発祥といわれるユネスコ無形文化遺産の「文楽」の素晴らしさを広めるべく多方面で活動する注目株。2018年1月に国立文楽劇場(大阪)で開催される戦後の文楽界を先導した人間国宝・八代目竹本綱太夫「五十回忌追善公演」において六代目竹本織太夫(綱太夫の前名)を襲名する。「織太夫」は、江戸時代から続く名跡であり、その大名跡を継ぐ者として、また次代の文楽を担う太夫のひとりとして、魅力ある舞台が期待される。

